



《地平線と道》 2022年

第1回 ホワイトウォールプロジェクト

# 田中千智 展 地平線と道

福岡市美術館 2階 近現代美術室B

2023.1.5|木| - 3.21|火・祝|

9:30 - 17:30 (入館は17:00まで)

休館日:月曜日(1.9|月・祝|は開館し、翌1.10|火|は休館)

一般 200円(150円) 高大生 150円(100円) ( )内は20名以上の団体料金

次の方は無料でご観覧いただけます。

- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、障害者手帳アプリ「ミライロID」をご持参の方、およびその介護者1名
- ・特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証
- ・小児慢性特定疾病医療受給者証をご持参の方・福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方
- ・wa+club(わたすクラブ)会員・中学生以下の方

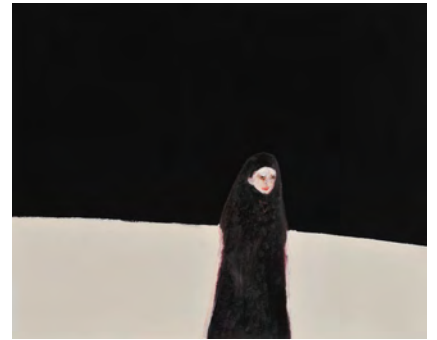
第1回 ホワイトウォールプロジェクト

# 田中千智 展 地平線と道

福岡市美術館では、2019年リニューアル時に誕生したホワイトウォール(約3.14m×13m)を舞台とした、新たな企画展「ホワイトウォールプロジェクト」を実施します。これは3年に1度、気鋭のアーティスト1組に、壁面を用いた新作を依頼し、あわせて隣接する展示室(近現代美術室B)において、当該アーティストの個展を開催するものです。

シリーズ初回となる今回は、福岡市在住の画家・田中千智を紹介します。田中千智(1980年生まれ)は、2005年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業後、2006年より福岡を拠点に作家活動を開始しました。アクリル絵具を使ったフラットな漆黒の背景に、艶やかな油彩で前景を描くという独自の手法を開拓した田中の作品には、笑みとも怒りともとれる人物の表情、漆黒の中にきらめく風景など、相反する要素が組み合わせられ、観る者に強い印象を与え、その想像力をかきたてます。多数の個展・グループ展のほか、書籍の装丁画、小学館新本社ビルの大作壁画など幅広い活動をおこない、いまや福岡を拠点とする作家の代表格のひとつとなっています。

本展では、田中千智の2008年から最新の作品まで約40点を展示するとともに、田中がホワイトウォールを用いた壁画の制作をおこないます。壁画は、2023年1月末に第1段階が完成し、その後2024年1月、2025年1月に制作をおこない、第2段階、第3段階と画面が変化していく予定です。最終的には2025年12月末まで展示の予定です。ぜひご覧ください。



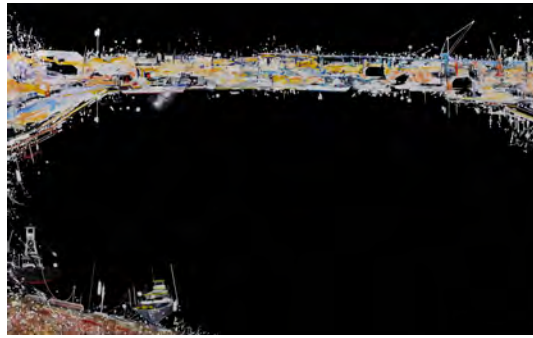
《白い夢II》 2010年



《意識の旅》 2014年



《安全な場所》 2022年



《きょう、世界のどこか》 2011年



《除名》 2018年

## 関連イベント情報

### 作家によるギャラリートーク

2023年1月14日|土| 14:00~14:40

3月4日|土| 14:00~14:40

会場:近現代美術室B(2階)

講師:田中千智(画家)

### つきなみ講座 特別編

2023年2月18日|土| 14:00~15:30

「第1回ホワイトウォールプロジェクト田中千智展 地平線と道」のみどころ

会場:レクチャールーム(1階)

講師:田中千智(画家)、山木裕子(本展担当学芸員)

### 担当学芸員によるギャラリートーク

2023年2月11日|土・祝| 14:00~14:40

会場:近現代美術室B(2階)

講師:山木裕子(本展担当学芸員)

※イベントにご参加の際は、マスクを着用ください。そのほか詳細は美術館ホームページをご確認ください。



## アクセス/交通案内

**地下鉄:** 《空港線》大濠公園駅(福岡市美術館口)下車、徒歩10分。

《七隈線》六本松(科学館前)駅下車、徒歩10分。

**西鉄バス:** [系統番号13・140]で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分。

[系統番号6・7・12・113・114・200~206・208]で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分。

[系統番号6-1]で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分。

**車:** 福岡都市高速「西公園ランプ」から5分。

福岡市美術館専用駐車場(有料:1時間/200円)

利用時間:午前9時~午後9時(開館日のみ)

※週末、祝日等は大変込み合います。公共の交通機関をご利用ください。